

---

# 妄想水魔。水の中

アダムの肋骨

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

妄想水魔。水の中

### 【Nコード】

N2520D

### 【作者名】

アダムの肋骨

### 【あらすじ】

先日、水の中に落ちました。…でも助けてもらわなくて結構です。

先日、水の中に落ちました

水を通して見る世界は、今までに見慣れた世界とはかなりかけ離れているものでした。

視界が有得ないほどにぼやけているのです

でもいいのです。

此处はとても居心地がいいのです

だからいいのです。

地上に上がることもなんてしません

先ほど言っ たように、

此処は地上よりも素敵な世界なのです。

最近、 水の中に落ちました

初めの頃よりはつきりものが見えるようになりました

でも動くことなんて出来ません

これはよく見える目玉と体の自由の価値が同じだったからなのでしょうか。

私にはよく分かりませんが……

先ほど大家さんが来ました。

水の中で生活するには水の中での大家さんと契約をしなければいけないのだそうです。

私は所持金も何もないので体の自由を持っていけました。

しかしその後、よく見える目玉が私の元にやってきてくれました。

ふよふよ水の中を泳いできて、

私の目玉をくりぬいて、

そして私のまぶたを屋根として住み始めたのです。

私自信にとってはかなりの利益です。

だから動くことなんて出来ません。

……

今気づきました。

水の中での大家さんは私の勝手な妄想だったということに、  
よく見える目玉も私の勝手な妄想だったということに、

だって、

私の体が動かない訳が今分かったんだもの…

その訳はただたんに、

私の足が地上の木の根にひっかかっていただけだったのです。

ちよつとがっかりしました。

だって水の中なら、いままで以上に有意義な生活を送れることに確信を持っていたから…

私のどうしようもない妄想に付き合ってくれてありがとうとついでにます。

でももうそろそろ飽きる頃じゃないかしら。

お暇でしたらどうぞ私の妄想に聴き入ってください。

いつだったか、水の中に落ちました。

顔こそ覚えていませんが、知人の女に落とされました。

足はまだ地上の木の根にひっかかったままです

助けてください。

遠い昔、水の中に落ちました。



足を見ると、

そこには何もひっかかっていませんでした。

手を見ると、

そこには何もありませんでした。

どうやら私の体は魚の餌になったようです。

私の意識だけが、

木の根にひっかかっていたようです。



（後書き）

水の中って素敵だと思います…。  
最後まで読んでくださってありがとうございます。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2520d/>

---

妄想水魔。水の中

2010年12月30日01時54分発行